

令和4年度

事業報告書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

社会福祉法人 甲西厚生会
軽費老人ホーム あやめの里

令和4年度 事業報告

1 基本方針について

ここで生活している人すべて(入所者や職員)が
家族のように過ごせるように
最大限の努力をしていきます。

社会福祉法人として、地域を元気にすることで
自分たちも地域に育てていただくことができる
互恵関係を築いていきます。

あやめの里では、昭和59年の開設以来38年、基本方針の下、できる限り入所者自らが身体的・精神的に自立できるような支援を心掛けてきた。

具体的には、外出する機会を可能な限り設けるとともに、クラブ活動等の活性化や充実にも力を注ぎ、入所者に対して、少しでも質の高い福祉サービスが提供できるよう、各種会議等を通じて、職員相互の意思統一を積極的に図ってきた。

また、入所者・家族等と職員全員が協力し合うなかで活気ある施設づくりを念頭に、積極的に各種行事に取り組んで行く予定でいた。しかし、令和元年度から「新型コロナウイルス感染症」が続く中、今年度も【入所者の命を第一】に考え、【安心】して生活できる環境を整えることを最優先に考えた。感染状況を速やかに分析し、施設としてできることを職員で話し合い、その都度対応策を考え、決定・実行してきた。

よって令和4年度は、前年度と変わらず行事は縮小しての実施、また形を変えて実施するなどの対応を取る。一方、外部から施設への慰問者の行事を少しずつ再開した。

また外からの感染症の持ち込みを防ぐことを考慮し、外出制限や施設内への面会禁止という措置は継続した。但し、外での面会や離れ(東館)は“15分”としていた。

その効果や職員の努力・入所者の協力のより、3年間を通して一人の感染者も出ることなく終わった。これは貴重な記録として残すようにする。

そして、“てんとう虫グループの世代間交流”である、和成こども園・貢川幼稚園の子ども達との楽しいふれあひも、地域交流も残念ながら出来ない状況が続いた。

2 施設運営方針について

(1) 支援

① 施設入所者の管理・支援

コロナ禍で、精神的・身体的苦痛が限界に達している方が多く、入所者から日頃の健康状態及び精神衛生面等についての相談が多かった。生活相談員・看護職員(看護師)及び介護職員等を中心に相談を受け、話し相手になる中で、心身ともに落ち着いた生活ができるよう、様々な相談に応じ、各種支援を行った。中でも、難解な相談については、随時ケース会議等を開催して支援方法等を検討し、職員全員で検討結果を共有して支援を行った。

また、入所者の身体面・心理面や情緒面への配慮を併せて行うとともに、信頼関係を構築しながら、機能低下しないよう各種対応を図った。

しかし、コロナ禍で制限せざる負えない生活が3年も続いてしまっているため、身体機能低下や認知症の進行など一部の入所者に影響があった。入所時2階・3階に入所していた方が、食堂・浴室・医務室・事務室・玄関が近く、職員の目が届きやすい1階へと転居せざるをえない方が例年より多かった。

そして、介護保険サービスが常時必要となり、介護保険適用施設へと移られる方や病気が進行し入院となってしまった方が目立った。 ※別紙1～3参照

② 入所希望者への支援

一年を通して、口コミや地域活動への効果・HP(ブログ)・「あやめ通信」などの広告媒体の効果もあり、役所関係や地域包括支援センター・居宅ケアマネ・メールでの入所希望者は多くほぼ毎日問い合わせがある。その中で最近目立つのは、月の年金支給額が5万円～7万円位の国民年金の方や軽度認知症(MCI)の方だった。

また、希望者の多くは、家族と同居しているが、お互い折り合いが悪く、別生活をしたいので入所したい方、特にお互いの関係が悪化し、DVへと発展してしまい、行政が関わる事例や養護老人ホームで一時的に保護されてから入所する方、県営・市営住宅やアパートで一人暮らしをしているが、先行が不安な方、精神疾患のある方、退院日が決まっているが、そのまま自宅へ戻るのは心配な方、離婚して別生活をしたい方、年金が少なく生活保護を必要としている方など70～80歳代前半の方の問合せが目立った。

また、問い合わせや照会があっても、満室のため、入所できない方や、体験入所のための検討会議で受け入れ不可能となるケースもある。

待機者の中にも、順番がきたので案内をすると「1階へ入所したい・・・」など階を希望する方がいて、希望する階が空くまで待機するケースなどもあった。

さらに、待機中に認知症の進行やADL低下がすでに進んでしまい、タイミングが少し遅く、自立した生活がすでに難しくなってしまったケースが目立った。結果、軽費老人ホーム(A型)に合った状態の希望者ではないため、問い合わせが多くても実際に

入所できる方の確保は、相変わらず年々難しい傾向にある。

(2) 日常生活について

入所者の尊厳を尊重し、施設であっても生活の場としての快適な居住性を重視しながら、可能な限り身の回りのことを入所者自身ができるように支援を行った。

そして、コロナ禍でも入所者に「安心」して「生き生き」と「明るく」生活できるよう、その心身の状況や希望に応じたサービスを提供するとともに、「生きがい」をもって生活するための機会を適切に提供してきた。

しかし、入所者の高齢化の進展に伴い、軽費老人ホームといえども、多少の介護または介助の必要な入所者が現実的に多くなってきている。このような中で、入所者がスムーズに次のステップである介護保険施設などに入所できるまでの間、限られた施設の環境及び体制の中ではあるが、入所者に最後まで満足してもらえる支援を心掛けた。

50名の入所者が一度に食べていた食事をコロナ禍で密を避けるため、最初20名お呼びし、その後10名ずつ順番にお呼びしていた。その後年度途中には感染状況を見ながら最初お呼びする人数を30名に増やし、一度に食せる人数が増えた事で食事時間を短縮することが出来た。 ※ 別紙4・5参照

3 保健・衛生・健康管理について

入所者の健康管理に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施しながら、看護職員を中心に、生活相談員・介護職員等により、日常生活の観察、月2回の健診、内服の管理(処方受けを含む)健康相談・受診への支援、介護認定の申請援助などを行った。また、病気のある入所者で食事制限がある入所者の食生活については、栄養士を中心に調理職員と協力して、適切な栄養管理などに努めた。

さらに、春と秋の年2回、入所者全員を対象に「甲府市医師会健診検査センター」による「総合健診(人間ドック)」を実施した。

そして、週2回、嘱託医「保坂メディカルクリニック」と「井出整形外科医院」への通院・送迎も行った。また嘱託医によるコロナウイルスワクチン接種やインフルエンザ予防接種も実施し、陽性者を出さず今年度(3年目)も終えることが出来た。

入所者の健康維持に関しては、職員全員が平素から、早期発見・早期治療を念頭に、入所者の疾病予防や機能の回復に努めるとともに、高齢化による機能の低下を防ぐための支援にも力を注いだ。

また今年度特に、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に伴う制限が、ADL全般の低下やストレス増大からくる精神不安定な状態に陥らないよう、十分に注意をしてきた。 ※ 別紙6～9 参照

4 給食・栄養管理

入所者の高齢化が進展する中、栄養バランス・食事提供の仕方や嗜好調査(年1回)を踏まえた食事の工夫等を行い、入所者が満足する食事を提供するよう心掛けた。季節を感じられる行事食や選択食、お楽しみデーにも力を入れて取り組んだ。

常食提供施設ではあるが、病気の症状に応じて、看護師・栄養士と相談の上、随時適応できるような食事の提供にも努めた。調理方法なども給食委員会等において、他の職員から意見を聞く中、給食担当者も打ち合わせを密にしながら日々努力した。

また、施設敷地内のあやめファームで収穫した野菜を使用し、地産地消を実施することができた。無農薬で新鮮な野菜を使用することで安心安全でしかも栄養価の高い食事を提供できた。

今年度は物価高騰の為、給食費が高騰してしまったが、畑の野菜を使用することで給食費の削減につながった。来年度は価格調査をしっかりと行い、手作りのメニューをより増やし、経費削減に努めていきたい。

※ 別紙10～12 参照

5 安全管理について

入所者の安全管理については、各階に防犯カメラを設置し、安全面の強化として事務所内で24時間監視できる体制をとっている。他にも警備会社への警備を委託している。

避難訓練は月に1度抜き打ちで実施し、年に一度総合防災訓練として甲府西消防署から消防職員による、初期消火訓練・通報訓練・救助袋訓練などの指導を受けた。

入所者が転倒しないための措置を考え、施設内を点検することも実施した。

年2回、防災点検委託管理会社による点検を実施し、不備の箇所は改善するよう努めた。電気関係;変電室・キュービクルの異常により全面改修工事を進める準備に取り掛かった。

特殊建物構築物点検(建築設計事務所に委託)も実施した。

※ 別紙13 参照

6 機能訓練と余暇活動について

今までは、加齢とともに、無気力に陥りやすい入所者の生活に、潤いと活力を与えるため年間を通して、介護予防の見地から、様々な活動を試み実施してきた。

しかし、コロナ禍で活動は制限されてしまい、機能訓練や余暇活動は、昨年度よりも少しは増えたものの、まだまだ以前のような活動はできなかった。

そこで、施設内でできるクラブ活動を主に増やし、施設外での活動はコロナ対策を徹底し、少人数で何回かに分けて実施する考えへと変更して対応してきた。

具体的には、毎朝、前庭で、入所者全員で「甲州弁ラジオ体操&歩行訓練(散歩)」を行うとともに、午後3時から、「リハビリ体操&歩行訓練(散歩)」を実施した。雨天時は、室内及び廊下にてできるようにし、毎日体操は継続した。

また毎月2回、機能訓練と入所者同士のコミュニケーションを図ることを目的として「リハビリレクリエーションクラブ」を実施し、毎回多くの参加者が集まり、楽しみながらリハビリレクリエーションを行った。

認知症予防として、毎月「脳トレーニングクラブ」を実施。レベルに合わせて2タイプの問題を用意し、1時間集中して問題を解いてもらう。解き終わった方から提出してもらい、職員がマンツーマンで採点してアドバイスを行った。楽しみながら認知症予防していくことを意識した問題を用意したため、毎回予想以上の方が参加し、少しずつ効果が出るようになってきた。

「カラオケクラブ」は月2回、大型スクリーンに映し出される映像を見ながら、気持ちよく自慢の喉を披露。換気に気をつけながら実施し参加者も増え、コロナ禍でのストレス解消に、大きな成果が出ていた。また、カラオケクラブで唄う前の練習やみんなの前では、恥ずかしくて唄えない方が、自由に使用できるよう東館を「一人カラオケルーム」として開放し、個人で楽しむ時間を設けた。

「輪投げクラブ」も月2回実施し、天気の良いときには、前庭で実施した。雨天時は大ホールにて実施。2チームに分けて対抗戦を行い、いつもとても盛り上がっていた。コロナ禍で、入所者同士でのコミュニケーションを制限している中、このクラブでは、チームのメンバーがみんな協力しあい勝負するため、必然とコミュニケーションが要求されるので、交流を深める良い機会となっていた。

施設外での活動としては、コロナ対策を徹底し、人数制限や回数を分けて「散策クラブ」を実施。11月には、先代理事長の想いの籠った地である富士川町平林に前理事長が建造した「光充天宮」へ「紅葉狩り」に行った。また、1月には恒例の「初詣」で「稲積神社」へ行き、思い思いに祈願、2月には「不老園」で梅の花と香りを楽しんだ。

そして3月下旬には「小瀬スポーツ公園」へ行き、満開の桜のトンネルをくぐって感動し、春の季節を満喫した。

「買い物」に関しては、不要不急の外出を控え、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、基本外出を禁止していた。しかし、感染状況を見ながら、外食は禁止しつつ、感染状況をみながら週1回～3回の外出を「外出届」を提出しての外出をするなど、臨機応変に対応した。また、隣のセブンイレブンは、毎日午前9時半～11時・午後3時～4時30分の間限定。「外出届」を提出し、職員が許可した場合のみ可能とした。

それ以外の外出に関しては、外出予定の約1週間前に「外出願(特例)許可書」を提出してもらい、職員が慎重に判断。5人の職員の許可がないと外出できない制限を設けた。

しかし、現状コロナ終息が見えない長期化していく状態になっていった。これでは入所者にストレスが溜まってしまい、病気などを発症してしまう可能性も考えられたため、「買い物デー週間」を継続して設けた。希望者を募り、3～4人を1組として職員が付き添い、何回かに分けて実施した。

最小限の時間として30～40分での買い物だが、少しはストレス解消にはなったようだ。

「温泉クラブ」は残念ながらまだ中止したが、昨年度から開始した「釣りクラブ」は、季節を感じながら、ニジマス釣りをして気分転換を図った。男性のみならず女性の方

も参加し、交流を深めながらニジマスの釣れる楽しさを知り、楽しまれた。

そして、施設敷地内にある、広大な畑を利用して、例年同様入所者と職員が共同で、「農作業」を実施。「農作業」に従事してきた入所者に教えをいただく中、ジャガイモ・サツマイモ・玉ねぎ・なす・きゅうり・トマト・大根・にんにく・かぼちゃ・さやいんげん・ししとう・オクラ・ブロッコリー・ほうれん草・モロヘイヤ・赤シソ・青シソなどを栽培し、野菜を収穫するまでの苦労や尊さを共有した。

採れたての新鮮野菜は、すぐに食材として食事で提供し、収穫の喜びをみんなで味わうことができた。

また、「健康」で「元気」な身体作りをするためにも、この「農作業」は大きな効果を表し、農作業に親しんできた入所者の「生きがい作り」にもなったと思われる。

花づくりに関心のある女性の入所者には、敷地の土地を開放し、好きに利用して貰うこととした結果、敷地内が春夏秋冬いつでもきれいな花々に囲まれ、入所者・職員・面会者・見学者をも楽しませて貰うこととなった。それ以上に花づくりを毎日楽しんでいる入所者自身が健康で明るい日々を過ごせるようになった。

※ 別紙14・15 参照

7 地域交流について

今年度は「新型コロナウイルス感染症防止策」のため残念ながら、全部【中止】となった。コロナ禍前は地域の高校生のインターンシップや、小中学生の職場体験や慰問等を積極的に受け入れ、学生との交流を図ってきた。そんな中、今年度は、ワクチン接種が済んでいることを条件とし、敷島中学校の職場体験のみ希望があったため2日間に分け合計7名を受け入れた。

また、感染症防止対策をしながら、毎月1回の「散歩の日」を継続し、施設周辺を入所者と職員が一緒に散歩を実施した。コロナ禍でなければ、いつも地域のゴミ拾いをするボランティア活動も同時に行っていたが今年度も中止した。このような地域に根差した活動は、今後も積極的に行っていきたい。その他地域の老人クラブとの交流も中止となった。

年一回地域の方々をお招きして実施する【文化祭】も入所者・職員のみのものであった。

8 てんとう虫グループでの交流について

全部【中止】となってしまった。

しかし、5月「創立記念日」・8月「納涼会」・9月「敬老会」には、両園代表(園長)が園児たちの手作りのメッセージカードやプレゼントを持ってきてくれ、友愛会執行部のみ(4名)が対応。

9 入所者への生活支援について

入所者への生活支援については、コロナ禍でも、入所者主体の質の高い福祉サービスが提供できるよう、職員一丸となって支援に努めた。特に、個別による支援を基本として、あくまでも入所者の立場に立った支援目標を設定し、その支援目標に沿った支援を行った。

さらに、感染症防止策を施しながら、心身の健康を維持できるように、一人でも多くの入所者が各種行事やグループ活動等に参加できるよう積極的に促しながら、活動を通して充実した快適な生活ができるように心掛けた。

コロナ禍で、施設敷地内に制限した生活を強いられている中、「買い物デー週間」を設け、時間や人数制限しながら、施設外へ出てストレス解消や気分転換を図れる機会をつくった。

10 友愛会(入所者の自治会)について

友愛会の活動としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施しながら、実施した。友愛会役員による「代表者委員会」(毎月1回開催)において、議題について話し合い、「全体集会」(毎月1回開催)では、コロナ禍になってからは、2回に分けて協議を行っていたが、感染対策を行いながら1度に行えるように緩和した。その際、入所者全員に毎回わかりやすい情報を資料として提供した。その他の活動については、自粛された。

代表1名、副代表2名、会計1名で組織され、事務局として、職員も加わっている。

11 職員について

※ 別紙16 参照

① 健康管理について

職員が振替休日や有休休暇を取得し、リフレッシュ等ができるよう勤務割表に基づき勤務体制の充実に努めた。

健康診断を年1回(宿直を行っている職員に対しては年2回)実施し、健康管理に努めた。栄養士・調理員は月1回の検便を行った。感染症予防のためにインフルエンザ予防接種・コロナウイルスワクチン接種(4回)を行った。オミクロン株対応ワクチン接種は希望者のみ実施した。

コロナ感染者及び濃厚接触者については、十分な休みが取れるように努めた。

② 労務管理について

就業規則、給与規程等を適宜に見直し、これの周知徹底を図り、規律ある体制を作るよう努力した。また、必要に応じて、社会保険労務士とも相談する機会をもった。

③ 資質向上について

軽費老人ホームにおいては、職員の資格要件は、介護保険施設等のような資格は必要ではないため、職員の中には、専門の養成機関等で知識・技術の習得をしていない者もいる。コロナ禍で研修の機会も少ないため、オンラインでパソコンや携帯で研修を受けることのできるシステムの導入。各部署で専門的な研修を受けることが出来た。職員会議・支援会議を月に2度開催し、支援方法や行事等の準備・進行などを話し合い職員間での情報の共有化や、職員の資質向上等に努めた。

また施設内では、感染症拡大防止策をとりながら、限られた時間で、施設内研修を実施。新型コロナウイルス感染症や老人福祉に関する社会情勢等の知識・技術の習得を図った。

12 家族関係について

コロナ禍、家族と離れて入所している入所者については、極力、家庭との関係を保つよう、施設内での生活状況について、必要に応じて医療や介護・生活状況等の情報を家族に提供して、家族との緊密な連絡・連携に心掛けた。

また、機関誌「あやめ通信」を4ヶ月に1度(年3回)発行し、家族や保証人・各関係機関に配付するとともに、あやめの里のホームページのブログを常時更新し、施設での入所者の様子が、家族等にタイムリーに伝えられるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、施設内での面会は、今年度も【中止】していた。そのために時間制限を設ける中、施設外(前庭・玄関前・東館など)やリモートiPadを活用した面会などを実施した。

その他 年間行事 ※別紙17 参照

◎ 入所者状況（出身地）

別紙 1

令和5年3月31日現在

県内・ 県外	出身地	男	女
県内	甲斐市	1	2
	甲府市	5	9
	南アルプス市	3	1
	笛吹市	0	2
	北杜市	2	2
	韮崎市	1	1
	甲州市	0	1
	中央市	0	1
	上野原市	1	0
	市川三郷町	0	1
	南部町	0	1
県外	北海道	1	0
	東京都	2	2
	神奈川県	0	2
	群馬県	0	1
	愛知県	0	1
	新潟県	1	1
	長野県	0	1
	石川県	1	0
	京都府	0	0
	熊本県	0	1
	旧満州国	1	1
合計		19	31

◎ 月別入所状況

令和4年4月～令和5年3月

性別	令和												延人員	月平均	
	4年	5	6	7	8	9	10	11	12	5年	1	2			3
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	217	18.08
女	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	31	383	31.92
合計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	50.00

◎ 令和4年度 入所・退所者数

	入所者数	内訳	入所前			退所者数	内訳	退所後			
			自宅	病院	他施設			他施設	病院	自宅	死亡
男	3	内訳	2	0	1	3	内訳	2	0	0	1
女	4		4	0	0	4		1	1	1	1
合計	7					7					

◎年齢別表

令和5年3月31日現在

性別 年齢	性別		計
	男	女	
100以上	0	0	0
95～99	0	1	1
90～94	2	7	9
85～89	3	8	11
80～84	5	5	10
75～79	3	9	12
70～74	5	1	6
65～69	1	0	1
60～64	0	0	0
計	19	31	50

◎在所期間別表

令和5年3月31日現在

期 間	男	女	計
10年以上	2	4	6
8年以上～10年未満	0	1	1
7年以上～8年未満	2	2	4
5年以上～7年未満	2	5	7
3年以上～5年未満	7	7	14
1年以上～3年未満	3	9	12
1年未満	3	3	6
計	19	31	50
1人あたりの在所期間平均	4年5ヶ月	5年1ヶ月	4年10ヶ月

◎面会状況

別紙 4

令和4年4月1日～令和5年3月31日

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
令和4年度	対象者数	9	11	6	4	8	5	7	7	9	5	3	8	82
	面会者数	11	22	8	6	10	8	12	10	14	7	5	9	122

※新型コロナウイルス感染防止のため、施設内への面会は今年度も禁止した。面会をする際は、検温・消毒・マスクの徹底をして、前庭・玄関前ベンチや東館での面会を15分間と制限して実施した。そのため面会は、例年より3割ほど少なかった。また、入所者の外出も制限しているため、買い物や用事を保証人や家族に依頼することがいつもより多かった。

面会人数 区分	人数	%
1人もなし	26	52%
1人～5人	19	38%
6人～10人	2	4%
11人～15人	3	6%
16人～20人	0	0%
21人以上	0	0%
合計	50	100%

◎外泊状況

(1) 外泊回数

泊日数		1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	10泊以上	年間合計
令和 4年度	男(回)	新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため「禁止」とする。											
	女(回)												
	合計												

(2) 外泊人数

年度		月別											平均 外泊日数
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
令和 4年度	人数(人)	新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため「禁止」とする。											
	泊数(日)												
	累計												

*外泊実施者(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため「禁止」としたため、「0」

令和4年度 医務室報告

医療について

高齢者特有な高血圧症、心疾患、腰痛、膝関節症、うつ病、骨粗鬆症などの疾患の入所者が多い。糖尿病や腎臓病などの疾患も出現し、食生活管理を必要とするために、栄養士とともに課題分析と栄養バランスなどを考えるようにしている。また、健康診断において指示を受けたケースについては、通院等の適切な措置を執り、他の部門との情報交換に努め、総合的に健康面への対応を行った。

疾病別入院者数 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

科 目	男	女	計	備 考
内 科	5	1	6	脳神経内科含む
整 形 外 科	1	2	3	リハビリ含む
外 科	1	0	1	
泌 尿 器 科	1	0	1	
眼 科	0	1	1	
計	8	4	12	

通院状況

1. 毎週火曜日 「保坂メディカルクリニック」通院送迎（≒4～6名）
2. 毎週水曜日 「井出整形外科医院」通院送迎（≒8～12名）
3. 治療が必要な場合のみ往診依頼（随時）「保坂歯科医院」（0名）
4. その他
 - ・個人で通院をしている入所者も多数みられる。（バス・タクシー・家族・自家用車対応）
 - ・竜王リハビリテーション病院通院も多数見られ、必要に応じて付き添いの対応を行っている。
 - ・他の病院との連携を図り、情報交換を行っている。

健康管理

入所者には、看護職員、介護職員その他日常生活全般に関わる全ての職員の観察が大切であることから、互いに情報交換に努め、対応を行った。体重増加が見られるので、随時、体重測定を行い、その都度対応を行った。

令和4年度

月 日	種 別	対象 人数	内 容	
4月7日 4月21日	月例健診 月例健診 健康相談	47 47 47	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 体温・脈拍・血圧測定	●長谷川式簡易知能評価スケール(4/12) 4/21 感染症対策委員会①基本の感染対策について研修 ■生活体力測定(4/28)
5月9日 5月26日	月例健診 月例健診 健康相談	49 48 48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 体温・脈拍・血圧測定	
6月6日 6月21日	月例健診 入所者総合健診① 健康相談	49 50 50	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 身長・体重・血圧・検尿・心電図・胸部X-P	※甲府市医師会健診検査センター (あやめの里にて)
7月7日 7月21日	月例健診 職員健診① 月例健診 健康相談	48 14 50 47	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 全職員対象 体温・脈拍・血圧測定	※甲府市医師会健診検査センターにて (7/1~7/13) 7/21 感染症対策委員会② 職員向け研修：防護服の着脱方法について
8月4日 8月9日 8月19日 8月26日 8月26日	月例健診 コロナワクチン接種 (4回目) コロナワクチン接種 (4回目) コロナワクチン接種 (4回目) 月例健診 健康相談	50 職員2 24 職員4 23 職員3 50 50	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 体温・脈拍・血圧測定	
9月12日 9月22日	月例健診 月例健診 健康相談	50 50 50	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 体温・脈拍・血圧測定	●嘱託医相談日①(50名) ⇒随時相談対応
10月6日 10月20日 10月21日	月例健診 入所者総合健診② 健康相談	49 50 44	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 心電図のみ	10/26 感染症対策委員会③ ※甲府市医師会健診検査センター(あやめの里にて)
11月4日 11月1日 11月24日	月例健診 インフルエンザ 予防接種 月例健診 健康相談	48 入所者 50名 職員14名 50 50	体温・脈拍・血圧測定・体重測定 体温・脈拍・血圧測定	●歯科健診 ⇒新型コロナウイルス感染症のため【中止】

12月6日	コロナワクチン接種 (5回目)	45 職員4		12/2 感染症対策委員会④
12月8日	月例健診	49	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
12月9日	コロナワクチン接種 (5回目)	1 職員3		
12月16日	コロナワクチン接種 (5回目)	職員4		
12月23日	月例健診 健康相談	48 48	体温・脈拍・血圧測定	
1月5日	月例健診	49	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	1/24 感染症対策委員会⑤
1月19日	月例健診 健康相談	49 49	体温・脈拍・血圧測定	
2月2日	月例健診	49	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
2月20日	月例健診 健康相談 職員健診②	48 48 4	体温・脈拍・血圧測定 宿直者のみ対象 4名	※甲府市医師会健診検査センターにて (2/6~2/10)
3月2日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
3月23日	月例健診 健康相談	47 47	体温・脈拍・血圧測定	

常時、小ホールホワイトボードへ「新型コロナウイルス感染症情報・対応策・注意点」などを掲示している

入所者障害別数

令和4年度

障害別	男	女	計	備 考
歩行障害	7	9	16	杖使用・シルバーカー
聴力障害	1	5	6	難聴・日常生活上要注意 (聴覚障害4級：1名)
視力障害	2	2	4	視力の著しい低下
ペースメーカー	1	0	1	身体障害者手帳1級1種：2名
精神障害	0	1	1	保健福祉手帳（精神障害法律第45条：1名）
知的障害	1	1	2	療育B-1：2名
障害 (股関節・上下肢)	2	0	2	身体障害者手帳2級1種：2名
呼吸器	1	0	1	呼吸器機能障害3級1種：1名
合 計	15	18	33	

※1人の入所者が、複数の障害を罹患しているケースもある。

疾 病 の 状 況

令和4年度

		男		女		合計	
診療科目	病名	既往歴	現病歴	既往歴	現病歴		
内 科	高血圧症	0	14	0	29	43	
	心疾患	0	2	1	3	6	
	ペースメーカー留置（不整脈）	0	1	0	0	1	
	喘息または気管支炎	0	0	0	2	2	
	慢性閉塞性呼吸器疾患	0	2	0	0	2	
	消化器疾患	1	4	3	1	9	
	肝障害	0	5	0	5	10	
	糖尿病	0	5	0	5	10	
	リウマチ	1	0	0	1	2	
	貧血	0	5	0	8	13	
	肥満傾向	0	2	0	7	9	
	シェーグレン症候群	0	0	0	1	1	
脳神経科	脳梗塞	1	2	4	0	7	
	認知症	0	0	0	2	2	
整形外科	変形性膝関節症	0	1	3	2	6	
	腰椎圧迫骨折	1	0	2	1	4	
	頸椎症	0	2	1	0	3	
泌尿器科	前立腺肥大症	0	3	0	0	3	
	前立腺がん	0	6	0	0	6	
	膀胱がん	0	0	0	0	0	
精神科	精神疾患	1	1	4	1	7	
眼 科	白内障	0	1	1	3	5	
	緑内障	0	1	1	0	2	
	糖尿病性網膜症	0	3	0	0	3	
婦人科	婦人科疾患	0	0	1	1	2	
合 計		18	5	60	21	72	158

令和4年度 給食年間実施表

月	行 事	実 施 献 立
4/6	寿司の日(いなり寿司)	いなり寿司 あおさの味噌汁 小松菜のツナ和え オレンジ
4/21	お楽しみデー(サンドイッチ)	サンドイッチ (ハムチーズ・玉子) クリームコロッケ サラダスパゲティ パイン缶
5/12	お楽しみデー	竹の子ご飯 すまし汁 菜花のお浸し 白玉ぜんざい
5/19	創立記念日	天ぶら (えび・タラの芽・枝豆とコーンのかき揚げ)
5/19	選択食(おにぎり)	おにぎり (鮭・高菜明太・梅おかか・しらす昆布)
5/26	寿司の日(ちらし寿司)	味噌汁 ミニハンバーグ 刻み沢庵 オレンジ ちらし寿司 すまし汁 ほうれん草の和え物 オレンジ
6/3	お楽しみデー(中華)	チャーハン エビチリ イカのオイスター炒め 中華スープ ザーサイ 杏仁豆腐
6/13	寿司の日(いなり寿司)	いなり寿司 (五目・しそわさび) すまし汁 コールスローサラダ オレンジ さくらんぼ
6/28	喫茶の日	ホットコーヒー アイスコーヒー クリームソーダ レスカ あじさいゼリー オレンジチョコケーキ バニラアイス
7/8	そうめん(流しそうめんは中止)	そうめん 天ぶら (かき揚げ・ハンダマ) パイン缶
7/14	6・7月誕生会	お赤飯 天ぶら (しそ・茄子・ししとう・ハンダマ) 茶そば ほうれん草の和え物 信玄アイス
7/21	選択食(丼ぶり)	天井 うな丼 牛焼肉丼
7/28	寿司の日(ちらし寿司)	ちらし寿司 すまし汁 きゅうりとささみの梅肉和え バナナ
8/15	安倍川餅	安倍川餅 すまし汁 小松菜の和え物 デラぶどう すいか
8/19	寿司の日(助六寿司)	太巻き いなり寿司 ほうれん草のピーナッツ和え すいか
8/23	納涼会	サイダー オレンジジュース カルピス お茶 ソース焼きそば ジャガバター フランクフルト かき氷 綿菓子 (水色・ピンク)
8/30	お楽しみデー(沖縄)	スパムおにぎり ゴーヤと麩のチャンプル 沖縄そば (汁椀) マンゴーゼリー
9/5	寿司の日(いなり寿司)	いなり寿司 (紅生姜・しそわさび) 味噌汁 ほうれん草のごま和え りんご
9/9	十五夜	きのこごはん まり麩のお吸い物 月見ハンバーグ 月見団子 里芋の煮物 黄桃ヨーグルト
9/16	敬老会・誕生会	栗入りお赤飯 すまし汁 (紅白うずら) 鯛の塩焼き 煮物 梨
9/20	お彼岸(おはぎ)	おはぎ すまし汁 筑前煮 りんご
9/29	選択食(うどん)	天ぶらうどん (温・冷) カレーうどん
10/4	お楽しみデー(韓国)	キンパ (3切) コムタンラーメン チャプチェ ホットク とうもろこし茶
10/7	十三夜	月見うどん エビボールの煮物 オレンジ 月見団子
10/13	秋を楽しむ会	玉子入り太巻き 豚汁 柿 焼き芋
10/20	寿司の日(握り寿司)	マグロ2切 サーモン エビ 玉子
10/25	喫茶の日	ホットコーヒー アイスコーヒー クリームソーダ 紅茶 かぼちゃプリン 大学芋 バニラアイス
10/31	ハロウィン	おばけロール パンプキンスープ シーフードグラタン イタリアンサラダ みかん缶

月	行 事	実 施 献 立
11/9	寿司の日(いなり寿司)	いなり寿司(しそごま・五目) すまし汁 春雨サラダ バナナ
11/17	文化祭	バターチキンカレー 大根サラダ みかん
11/21	選択食(フライ)	カキフライ エビフライ ロースカツ
12/6	お楽しみデー(鍋)	寄せ鍋 きんぴらごぼう 漬物 オレンジ
12/13	餅つき	つけこ2個 豆餅 すまし汁 筑前煮 みかん
12/15	寿司の日(海鮮ちらし)	海鮮ちらし寿司 すまし汁 キャベツと竹輪のおかか和え オレンジ
1/12	どんど焼き	飾り用団子 当日用団子 甘酒
1/17	新年会・誕生会	お赤飯 天ぷら(エビ・いんげん・舞茸・干し柿) 煮物 茶碗蒸し おしるこ
1/25	選択食(おにぎり)	おにぎり(鮭・梅おかか・高菜明太・しそ昆布)
1/30	寿司の日(いなり寿司)	いなり寿司(五目・紅生姜) 味噌汁 ブロッコリーとツナの和え物 パイン缶
2/3	節分	太巻き けんちん汁 いわしの丸干し 福豆 切山椒
2/14	バレンタイン	たまごサンド コンソメスープ ジャーマンポテト オレンジ
2/22	お楽しみデー(海鮮丼)	海鮮丼 味噌汁 大根ときゅうりの生姜和え オレンジ
2/28	喫茶の日	ホットコーヒー アイスコーヒー 甘酒 クリームソーダ オレンジジュース 豆餅お茶セット レアチーズケーキ アイスクリーム
3/3	ひな祭り	花型ちらし寿司 すまし汁 ごぼうの甘辛揚げ ほうれん草の和え物 三色プリン ひなあられ
3/9	2・3月誕生会	お赤飯 すまし汁 天ぷら(枝豆のかき揚げ 茄子 舞茸) 冷しゃぶ 桜の杏仁豆腐
3/20	おぼた	おぼた 筑前煮 小松菜の和え物 オレンジ
3/23	寿司の日(いなり寿司)	いなり寿司(梅ゆかり・しそごまわさび) すまし汁 ほうれん草としめじのソテー りんご
3/28	選択食(ラーメン)	醤油ラーメン 味噌ラーメン ちゃんぽん

考察

- ・毎月イベント食を実施し、食事を楽しんでもらえるようにした。
- ・季節感が出せるよう、旬の食材を多く取り入れた。
- ・あやめの里で採れた野菜を多く使用した。

主な行事食

4月 寿司の日(いなり寿司)



5月 創立記念日(お祝いメニュー)



5月 寿司の日(ちらし寿司)



5月 選択食(おにぎり)



6月 喫茶の日



6月 お楽しみデー(中華)



6月 寿司の日(いなり寿司)



7月 七夕メニュー



7月 誕生会メニュー



7月 選択食(うな丼)



7月 選択食(天井)



7月 選択食(牛焼肉丼)



7月 寿司の日(ちらし寿司)



8月 お盆(安倍川もち)



8月 寿司の日(助六寿司)



8月 納涼会メニュー



8月 お楽しみデー(沖縄)



9月 寿司の日(いなり寿司)



9月 十五夜メニュー



9月 敬老会・誕生会メニュー



9月 お彼岸(おはぎ)



9月 選択食(天ぷらうどん冷・温)



9月 選択食(カレーうどん)



10月 お楽しみデー(韓国)



10月 十三夜



10月 寿司の日(握り寿司)



10月 喫茶の日



11月 寿司の日(いなり寿司)



11月 文化祭



11月 選択食(ロースカツ)



11月 選択食(カキフライ)



11月 選択食(エビフライ)



12月 餅つき



12月 お楽しみデー(鍋)



12月 寿司の日(海鮮)



1月 新年会・誕生会



1月 どんと焼き



1月 選択食(おにぎり)



1月 選択食(おにぎり)



1月 寿司の日(いなり寿司)



2月 節分(太巻き)



2月 バレンタインメニュー



2月 お楽しみデー(海鮮丼)



2月 喫茶の日



3月 ひな祭りメニュー



3月 誕生会メニュー



3月 お彼岸(おぼた)



3月 寿司の日(いなり寿司)



3月 選択食(醤油ラーメン)



3月 選択食(味噌バターラーメン)



3月 選択食(ちゃんぽん)



栄養摂取一覧表

令和4年度

月	エネルギー Kcal	蛋白質 g	動物蛋白 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA ug	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	塩分 g
R4.4	1,524	53.7	24.1	39.2	353	7.3	483	0.83	0.75	92	7.2
5	1,577	57.3	27.2	40.7	342	8.2	477	0.82	0.80	91	7.6
6	1,524	54.9	25.0	39.3	346	8.0	446	0.77	0.74	90	7.6
7	1,522	56.1	26.9	38.3	340	7.9	486	0.76	0.75	86	7.9
8	1,523	54.0	24.1	40.3	344	8.0	535	0.86	0.74	92	7.9
9	1,560	55.9	24.8	39.2	390	7.8	549	0.76	0.78	8	7.6
10	1,544	55.7	26.6	40.0	369	7.7	505	0.82	0.73	88	7.8
11	1,556	57.4	27.2	40.3	383	8.0	542	0.80	0.75	90	7.9
12	1,558	55.7	26.4	38.9	364	8.1	508	0.81	0.74	86	7.9
R5.1	1,604	60.6	29.8	40.9	368	8.3	530	0.80	0.80	89	7.2
2	1,545	57.9	28.4	40.4	440	8.4	506	0.80	0.81	86	7.0
3	1,563	57.1	26.2	39.2	398	7.8	540	0.75	0.75	91	7.3
合計	18,600	676.3	316.7	476.7	4,437	95.5	6,107	9.58	9.14	989	91
平均	1,550	56.4	26.4	39.7	370	8.0	509	0.80	0.76	82	8
※1当施設 基準値	1,313	49.0	22.0	36.0	561	6.2	573	0.90	0.90	100	10未満
充足率 %	118	115	120	110	66	128	89	89	85	82	92

※数値は各月の1日当たりの平均摂取量です。

※1 年齢・身長・体重・身体活動レベルによって割り出された値です。

栄養比率（ ）は基準値

穀類エネルギー比 50.8% (60%以下)

動物性蛋白質比 46.8% (40~50%)

蛋白質エネルギー比 14.5% (12~15%)

脂質エネルギー比 23.1% (20~25%)

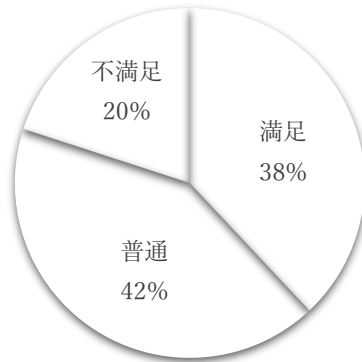
評価・考察

栄養素比率では、全て基準値内であった。栄養素の補充率では、昨年同様カルシウムの不足が目立って見られる。改善の為、様々なカルシウム食材を加えたがあまり数字に出なかった。来年度は乳製品をはじめ、骨ごと食べられるような小魚、豆腐や納豆などの大豆製品、野菜類や海藻類を更に多く取り入れ、カルシウムが多く含まれた乳飲料なども使用し、摂取量を増やしていきたい。

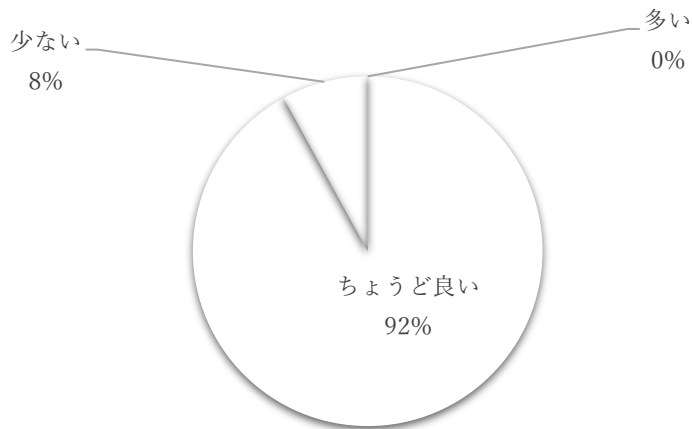
令和 4 年度 嗜好調査報告書

令和 5 年 3 月 20 日

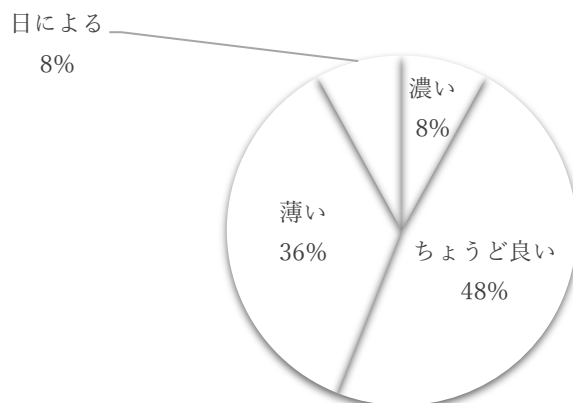
①今の食事に満足していますか？



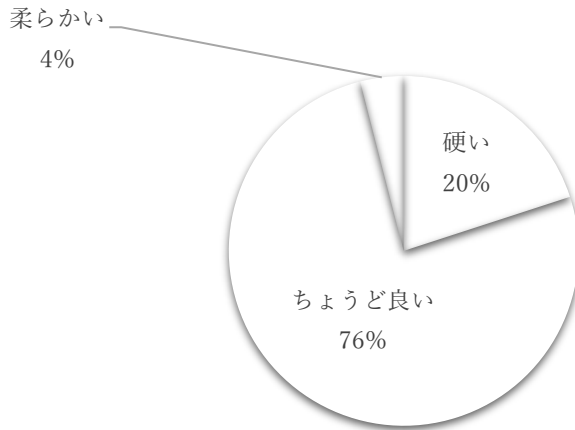
②食事の量はどうか？



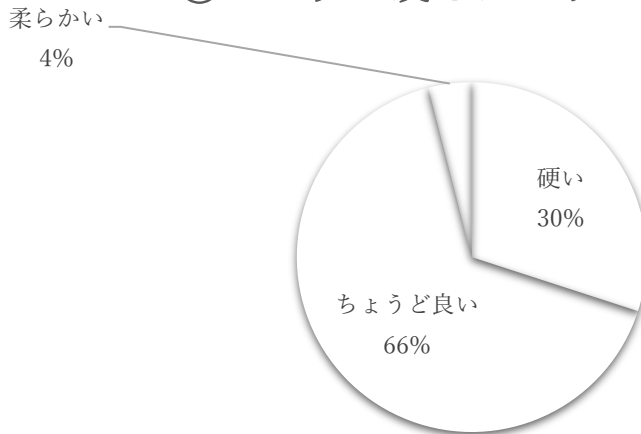
③味の濃さはどうか？



④主食の硬さはどうですか？

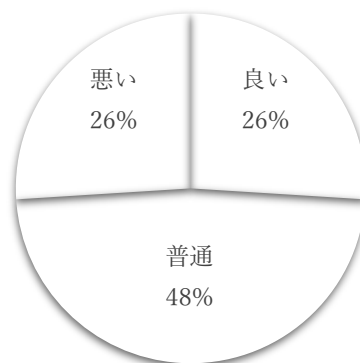


⑤おかずの硬さはどうですか？



【食べずらい⇒じゃがいも 8・鶏肉 2・唐揚げ 2】

⑥食材の切り方はどうですか？



【キャベツなど小さすぎて食べずらい・じゃがいもが硬くて大きい・煮物の大根食べずらい】

⑦好きな料理・食べたい料理があれば聞かせてください。

- ・ 麺類 (7) ・ 刺身 (5) ・ 寿司(8) ・ ラーメン (5) ・ パン (4) ・ 焼き魚 (3) ・ 生野菜 (2) ・ 野菜 (4)
- ・ 中華 (2) ・ 肉 (4) ・ 牛肉 (2) ・ 甘いもの (3)
- ・ 天ぷら ・ チャーハン ・ いなり寿司 ・ たまごかけご飯 ・ かんぴょう巻き ・ そば ・ ちらし寿司
- ・ ほうとう ・ 鍋 ・ 果物 ・ プリン ・ ヨーグルト ・ レモンスカッシュ ・ マグロ ・ 汁物

⑧苦手な料理はなんですか？

- ・ 肉 (7) ・ ネギ (2) ・ サバ (2)
- ・ 酢の物 ・ 辛いもの ・ すいか ・ メロン ・ 納豆 ・ 里芋 ・ ネバネバしたもの ・ カレー ・ アジ ・ 揚げ物
- ・ 甘いおかず ・ 甘い魚 ・ ケチャップ ・ 乳製品 ・ 紅生姜 ・ 丼もの ・ 匂いの強いもの

⑨選択食・お楽しみデー・寿司の日・喫茶の日をやっていますが、ご要望等あれば書いてください。(〇〇〇の選択食など)

- ・ おにぎり ・ サンドイッチ ・ 太巻き ・ いなり寿司 ・ にぎり寿司 ・ パン ・ 麺 ・ ケーキ

⑩その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・ 夜が冷えるので、夕食に汁物や麺類を食べたい。(5)
- ・ おかずが冷たい。温かいものを提供してほしい。(8)
- ・ 生野菜をもっと増やしてほしい。
- ・ 麺の時の箸を割り箸に戻してほしい。
- ・ もっと魚に焼き目をつけてほしい。
- ・ 基本的に味がしない。
- ・ 野菜の切り方が下手、食べづらい。
- ・ 竹の子が硬くて食べづらい。
- ・ ラーメンの回数を増やしてほしい。
- ・ 納豆が少ない。
- ・ 刻み沢庵が苦手
- ・ 鍋をもっと食べたい。
- ・ また全国うまいもの市をやりたい。
- ・ 食を考える集会を月に1度やってほしい。
- ・ じゃがいもの切り方・調理法を考えてほしい。
- ・ 煮豆系が多くて飽きた。
- ・ 油揚げが多くて嫌。
- ・ パンを焼いてほしい。
- ・ 葉物(スジ)硬くて食べづらい。

○まとめ

アンケート結果から、今の食事に“満足している”“普通”と答えた方が多かったが、その他にも様々な意見を頂くことができた。

今回アンケート内容を変更し、食事の量・食材の硬さ・味の濃さ・切り方などを聞くことで、来年度の食事に対する改善点・注意点が良く分かった。

栄養士・調理でしっかり話し合いを行い、味・切り方・提供の仕方の見直しを行いたいと思う。

食べづらいと意見が出たものに対しては切り方を変え、何が食べやすいのかを模索していきたい。

コロナもあり今までのような外出等もできていないので、「〇〇が食べたい」などの要望にはなるべく対応していきたいが、集団調理や予算の関係もあるので、すべてを取り入れることは難しい。

しかし、対応できる事からしっかり対応していきたいと思う。

“食事が冷たい”“温かいものが食べたい”“夜に汁物や麺類を食べたい”などの要望に対しては、提供の仕方を工夫して対応できるよう検討していきたい。

入所者においしい食事を提供できるよう努めていく。

●防災及び安全対策(令和4年度実施状況)

実施日	総合訓練	避難訓練	救助訓練	通報訓練	消火訓練	教育	防火・予防 ・自主点検
4月	X	1回 (地震警戒宣言)					1回
5月		1回 (水害⇒地震)					1回
6月		1回 (火災)					1回
7月		1回 (地震)					1回
8月		1回 (夜間火災)				1回 (職員連絡網訓練)	1回
9月		1回 (地震警戒宣言)					1回
10月		1回 <甲府西消防署来所> (火災)	1回 <甲府西消防署来所>(救 助袋)	1回 <甲府西消防署来所>	1回 <甲府西消防署来所> (初期消火)		1回
11月		1回 (地震)					1回
12月		1回 (火災)					1回
1月		1回 (地震警戒宣言)					1回
2月		1回 (火災)					1回
3月		1回 (地震)					1回
合計	新型コロナウイルス感染症 拡大防止策のため「中止」	12回	1回	1回	1回	1回	12回

(※避難訓練後、
毎回講評を伝え、
教育に努めている)

〔評価・考察〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、制限しながら実施。そんな中でも出来る限り、実際の災害を想定して実施するように心掛けた。実際にいつ起こりうるか分からない災害状態を想定し、日付や時間を一切入所者へは伝えず、訓練してきた。

毎月の訓練をする中で、災害の恐ろしさを自覚するとともに、各班長を中心にして、入所者がお互い助け合う気持ちを養い、災害時に備えるようにしている。

● クラブ活動実施状況 ●

令和4年度

クラブ名	参加人数 (平均)			実施状況	指導者
	男	女	計		
書道	2	9	11	年 12回	職員
カラオケ	7	9	16	年 24回 (毎月2回)	職員
リハビリレクリエーション	10	17	27	年 24回 (毎月2回)	職員
散策クラブ	7	13	20	年 4回	職員
大正琴クラブ	0	5	5	年 12回	職員
温泉クラブ	/	/	/	新型コロナウイルス感染拡大防止のため「休止」	職員
趣味クラブ	4	13	17	年 12回 (毎月1回)	職員
脳トレクラブ	7	15	22	年 12回 (毎月1回)	職員
輪投げクラブ	6	8	14	年 24回 (毎月2回)	職員
釣りクラブ	2	1	3	年 1回	職員

◆ 随時「野菜作り (あやめファーム)」・「花づくり (あやめの里内花壇)」を入所者と職員と一緒に実施した。

◆ 今年度も「温泉クラブ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「休止」となった。その代替りとして、サプライズで毎月の「風呂の日」を充実させた。

◆ 令和4年度も「新型コロナウイルス感染症拡大防止策」をとりながら制限し実施。

◆ 生活に密着し「生き甲斐」として楽しんでもらうように、計画。

◆ 機能回復へのリハビリテーションとしての役割も担っている。

◆ 各クラブ、目的をもち、個人に潜在する「能力」・「技術」を引き出しながら「満足感」や「達成感」を意識して活動してきた。

あやめファームの様子

4月 長ネギ収穫



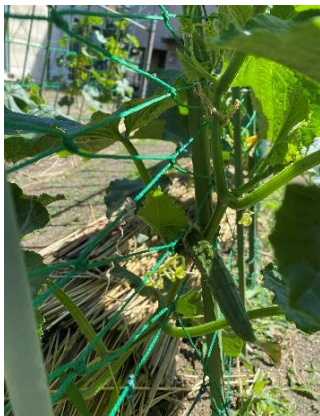
5月 玉ねぎ収穫



6月 ジャガイモ収穫



7月・8月 夏野菜収穫



あやめファームの様子

10月 さつまいも収穫



11月 大根収穫



収穫した野菜の選別作業



あやめ里の花壇



お風呂の日

4月 藤の花



5月 バラ



6月 あじさい



7月 竹



8月 風船



9月 ススキ&かかし



10月 ハロウィン



11月 菊



お風呂の日

12月 冬至&ゆず



1月 みかん

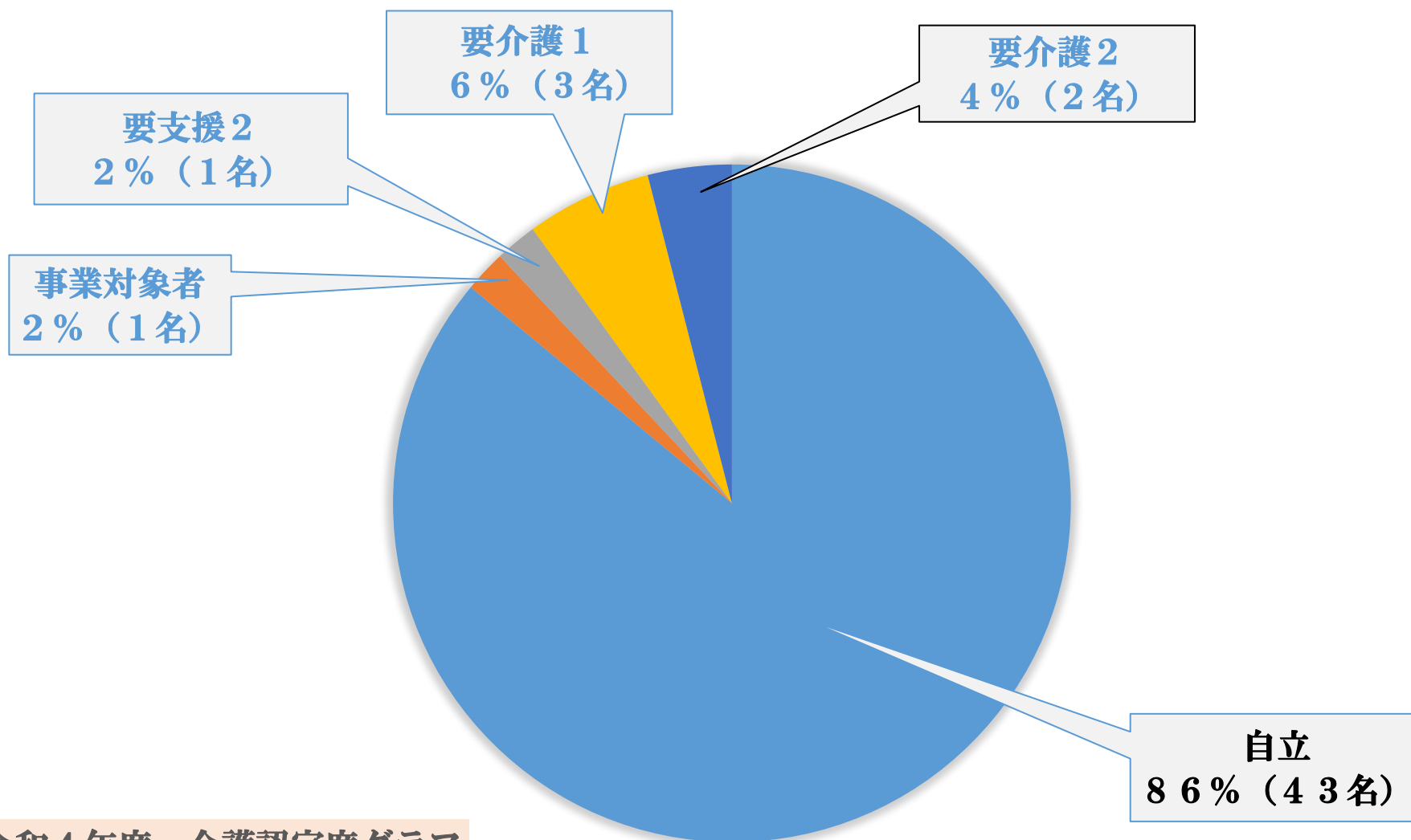


2月 はっさく



3月 さくら





令和4年度 介護認定度グラフ
(令和5年3月31日現在)

●職員勤続年数●

令和5年3月31日現在

年数等 区分 氏名	年齢	現に勤務する施設の状況			あやめの里職員 平均勤続年数 年月	その他の 社会福祉施設に おける勤続年数 年月	備考
		職員数 人	職 種	勤続年数			
女性	49	事務員	29年				
女性	49	事務員	19年	6年9ヶ月			
男性	52	生活相談員	13年				
女性	57	看護職員	8年	2年			
女性	43	主任介護職員	6年1ヶ月	8ヶ月			
男性	49	介護職員	14年	8年3ヶ月			
女性	40	介護職員	3年4ヶ月				
女性	23	介護職員	3年				
女性	31	栄養士	1年	10年			
男性	52	主任調理員	9年	6ヶ月			
女性	43	調理員	3年8ヶ月				
女性	27	調理員	3年11ヶ月				
女性	22	調理員	2年				
計	43.07	14		118年	8年4ヶ月	58年2ヶ月	

◎令和4年度 職員構成と配置

職 種		配置基準	採用	退職
常勤	施設長	1	0	0
	事務員	2	0	0
	生活相談員	1	0	0
	看護職員	1	0	0
	主任介護職員	1	0	0
	介護職員	3	0	0
	栄養士	1	1	0
	主任調理員	1	0	0
	調理員	3	0	1

その他の職員

嘱託	宿直専門職員	3人 (女性)
	環境整備	1人 (男性)

令和4年度 主な年間行事記録

日付		行事
4月	16	よもぎ摘み <職員のみ>
5月	10	梅もぎ <入所者：5名>
	12	創立記念日・4月,5月誕生会 / 余興：かがみもち <入所者全員> (創立記念日：コロナウィルス感染症拡大防止のため中止/プレゼント交換のみ)
	17	施設内消毒 <入所者全員>
6月	/	山梨県シルバー作品展見学 (コロナウィルス感染拡大防止のため中止)
	9	小旅行 / 八ヶ岳アルパカ牧場・諏訪方面 <入所者：28名>
7月	14	6月,7月誕生会 / 余興：職員によるダンス&クイズ <入所者全員>
8月	23	地域ふれあい納涼会 (コロナウィルス感染拡大防止のため、入所者のみ)
9月	15	第1部：敬老会(園児慰問) (コロナウィルス感染拡大防止のため中止/プレゼント交換のみ)
	16	第2部：敬老会・8月,9月誕生会 / 余興：職員によるダンス&歌 <入所者全員>
	25	ねりんピック コロナウィルス感染拡大防止のため輪投げ大会は中止:9/22代替大会として職員との交流戦<入所者：10名> クイズウォーキング:11/26 クイズウォーキング / 3位入賞 <入所者：5名>
10月	13	秋まつり⇒⇒⇒秋を楽しむ会 <入所者全員>
11月	17	第8回文化祭 余興：オハナ・プヒ/ウクレレ演奏&歌 <入所者全員>
12月	20	クリスマス会・忘年会・10月,11月,12月誕生会 余興：入所者/マリンバ演奏,ハーモニカ演奏：職員/ハンドベル,マジック<入所者全員>
1月	12	団子作り<入所者：4名> どんど焼き<入所者全員>
	17	新年会・1月誕生会 / 余興：百笑亭 真主真路/腹話術 <入所者全員>
2月	3	節分豆まき <入所者全員>
	/	峡中地区高齢者作品展見学 (コロナウィルス感染拡大防止のため不参加)
	24	ふれあいの会 (コロナウィルス感染拡大防止のため中止：プレゼント交換のみ)
3月	9	2月,3月誕生会 / 余興：多楽器演奏会 <入所者全員> ボランティア感謝会：コロナウィルス感染症拡大防止のため中止

主な年間行事

4月 よもぎ摘み



5月 梅もぎ



6月 小旅行（八ヶ岳アルパカ牧場）



6月 創立記念日（プレゼント交換のみ）



7月誕生会&職員による余興



8月 納涼会



9月誕生会&職員による余興



9月 敬老会（プレゼント交換のみ）



主な年間行事

9月 ねりんピック (クイズウォーキング)

10月 秋まつり



11月 文化祭



12月 クリスマス会 (入所者・職員による演奏会)

1月 どんど焼き



1月 誕生会 (余興：腹話術)



2月 節分豆まき



3月誕生会 (余興：多楽器演奏会)

